

つきたい力

取組みの概要・ポイント

学校図書館を活用し、目的や状況に合わせて情報を選び、自分の考えを表現する力

○情報活用能力・言語能力を育成する授業づくり→教科横断的な学習・単元マップの作成・思考ツールの活用
 ○本や資料に親しむ場づくり→ブックトラックの設置・イベントの実施・新聞活用。

具体的な取組みの内容

具体的な取組みの内容 学校図書館を活用した教科横断的な学習

単元マップの作成と共有

学校図書館を活用した教科横断的な学習を、単元マップを作成して実施。以下の点に留意した単元づくりで、情報活用能力・言語能力を育成。

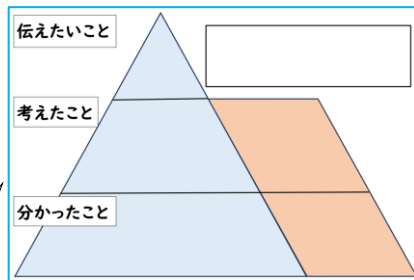
- ①つける力の明確化→系統性を意識した力の積み上げ
- ②魅力的な課題設定→地域とのつながり・相手意識
- ③解決方法の検討→課題解決能力
- ④思考ツール・成果物→情報活用能力・言語能力・図書館活用
- ⑤子どもと見通し・ゴールを共有→ルーブリック評価

情報カード・思考ツールの活用



目的や状況に合わせて情報を収集。資料から、必要な情報を選び出す。

情報を整理・分析して、自分の考えを表現できるようにする。



◎単元マップ・情報カード・思考ツールは、教科問わず活用でき、情報活用能力・言語能力の育成に有効。

具体的な取組みの内容 本や資料に親しむ場づくり

たくさんの本や資料に出合える学校図書館

ブックトラックの設置

各学年1台ずつ設置し、本をすぐ読める、本ですぐ調べられる環境を整備。学習に必要な本に1人1冊以上出合えるよう、市立図書館と連携。



ビブリオバトル・くじ引き本探し

友だちのおすすめの本を知ったり、くじに出た分類の本を借りたりして、様々な本と出会うことができる。

新聞活用

新聞視写に取り組み、語彙を増やす。新聞掲示で社会への関心を高める。



◎様々なジャンルの本や資料と出会うことで、読書に親しむ。
 ◎身近に本や資料がある環境をつくることができた。

取組みを通しての子どもの変容

○必要な本や資料が1人1冊以上ある環境を整備したことで、子どもの学ぶ力が向上した。(右表参照)
 ○子どもの貸し出し平均冊数も、伸びた。

R5 児童アンケート	R4 3月	7月	12月
わからないことや知りたいことがあったとき、本やインターネットなどで調べている	81%	82%	88%
本やインターネットなどで調べたことをもとに、自分の考えをまとめて書いたり、話したりしている	49%	54%	60%
授業で自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思う	63%	69%	75%

本校の取組みはこちら

